

夢のつばさプロジェクトニュース

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心にNPO法人4団体の協力によって進められている事業です。

このプロジェクトは、立ち上げ以来、数百名の方々から温かいご支援を賜っています。毎年続けてご寄付をくださる方も多く、また毎回のキャンプには、スタッフとして多くの方々が貴重な時間を割いてボランティア参加してくださいます。東北からやってくる子どもの送迎を毎回担当してくださる方や、豊富な人脈を駆使して企画作りに参加してくださる方、勤務をやりくりして駆けつけてくださる看護師さん、会計業務をお手伝いくださる方や、キャンプ中の緊急移動手段のためにと車を用意して参加くださる方など、様々な方に支えられています。ボランティアの学生達も、毎回、心を込めて活躍してくれています。

2013年夏キャンプ

【実施期間】2013年8月6日～9日

【開催地】(株)ブリヂストン保養所奥多摩園(青梅市)

【参加内訳】子ども 23名、学生ボランティア 27名、
その他スタッフ・協力者 16名

8月6日	開会式、施設探索宝探しゲーム
8月7日	敷島製パン埼玉工場、がん研究会有明病院見学
8月8日	朝の勉強会・レポート作成、運動会・水遊び、音楽会(フルート四重奏・ピアノ)
8月9日	閉会式、写真スライドショー、保養所の方々へ御礼

本活動も3年目となり、東北3県の教育委員会や児童相談所等との連携も非常に順調で、すぐに20名の募集人員を上回る応募がありました。今回は思い切って27名を受け入れることを決めて準備しましたが、直前になって学校行事による兄弟のキャンセルなども出て、23名(小1～高2)での催行となりました。

参加する子どもたちは、活動当初に比べて表情も言動も格段に明るくなりました。今回はキャリア教育の一環として、



◆病院見学



◆音楽会

工場と病院の見学を盛り込みました。社会にはどのような仕事があるのか、自分の成長の先を心に描いて、日常の学びへの励みとして欲しいと企画しています。

埼玉県比企郡川島町にある敷島製パン工場では、工場長はじめ多くの社員の方たちが出迎えてくださり、衛生面への厳しい取組みや、機械化と経験が双輪となっておいしいパンを作っていることを懸命に伝えてくださいました。がん研有明病院では、患者さんを治療し、癒すために、事務業務から医療まで多くの職種のスタッフがチームとなって働いていること、そしてそれらの資格取得のための道筋など、わかりやすく心温まる解説がありました。普段入り込むことのできないバックヤードの見学もあり、子どもたちだけでなく、学生や大人にとっても貴重な体験となりました。

その他、奥多摩の豊かな自然を背景に、宿舎の広い庭で水遊びや運動会、フルートとピアノの演奏会など、心と体を十分に楽しめる企画も行いました。子どもたちは、日々に「また来るね」と心を残して帰って行きました。スタッフ一同、子どもたちが自らを育て、心豊かな人に成長していくよう、今後も寄り添っていきたいと決意を新たにしています。

大学生たちは、早くも冬のキャンプに向けて、集会の日程を組んで張り切っています。皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。

(夢のつばさ♥プロジェクト)

ご寄付のお願い

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通 1284200

【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 (この口座は、夢のつばさ専用口座となっております)
ご協力いただける範囲でご寄付賜りますれば幸いです。ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせくださいませ。
領収書をお送りいたします(恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください)。
連絡先:夢のつばさ事務局 滝澤公子 TEL&FAX: 03-5978-5362 Email: tsubasa@npo-ochanomizu.org